

## 【JIN 法人会員向けイベントレポート】

### 「フィンランドのイノベーション動向～SLUSH Helsinki 2016 開催報告～」

2017年1月13日(金)、一般社団法人 Japan Innovation Network(JIN)は、フィンランド Espoo Innovation Garden(EIG)の COO の Ari Huczowski 氏に現地より Skype 経由でご登壇をいただき、JIN 法人会員向けイベント「フィンランドのイノベーション動向～SLUSH Helsinki 2016 開催報告～」を開催しました。

当日は、会場にてフィンランドのスタートアップサウナ風に参加者が輪になり、Skype 経由での EIG の Ari 氏や現地スタートアップ企業との質疑や、参加者同士の議論を進めました。

はじめに、JIN 代表理事の紺野登氏より、Ari 氏と EIG の紹介とともに、JIN と EIG が提携した背景の説明を行いました。



## ■EIG の Ari Huczkowski 氏によるプレゼン



続いて、EIG の COO である Ari Huczkowski 氏が登壇し、清水真弓氏による日本語への逐次通訳とともに、フィンランドとエスポー市の特徴、EIG の概要についてご説明いただきました。

具体的には、フィンランドの特徴について、「国際競争力」、「イノベーション能力」、「国家の安定度」「透明性」の4点を挙げ、世界ランキング上位を示しているご紹介いただきました。その中でも、ヘルシンキ証券取引所の取引高の5割は、エスポー市に拠点を置く企業の取引高であることを示し、エスポー市がフィンランド市場に占める存在感の大きさをご説明いただきました。

また、EIG のエコシステムを構成する主要プレイヤーとして、VTT(フィンランド技術研究センター)と、アールト大学の2つを挙げ、核となる研究開発分野として、「新マテリアル」、「バイオケミカルテクノロジー」、「工業デザイン」、「バイオ&再生可能エネルギー」、「健康 & セキュリティ-ICT」、「センシング & エレクトロニクス」、「ワイヤレステクノロジー」、「スマートマシーン」の8つがあるをご紹介いただきました。

続いて、大企業との連携について、PDP(PRODUCT DEVELOPMENT PROJECT)という大企業が特定のテーマを学生とともに解決するプログラムや、アクセラレーター: VERTICAL という大企業とスタートアップが連携して、製品開発を進めるプログラムをご紹介いただきました。

最後に、2016年11月にヘルシンキで開催された「SLUSH100」のピッチコンテストで優勝した「CybelAngel(フランス)」の概要をご紹介いただきました。

### ■EIG 推薦のスタートアップ企業 5 社によるピッチと参加者との質疑

その後、EIG が推薦するスタートアップ企業として、「Cozify」、「PICOSUN ALD」、「Broadbit」、「RadOLf」、「HOXHUNT」の 5 社がそれぞれピッチを行い、参加者との質疑を実施しました。

#### 【スタートアップ企業 5 社の概要】

「Cozify」：家の中のスマートデバイスをつなぐワイヤレスハブ

「PICOSUN ALD」：原子層堆積技術 (ALD: 数ナノメートルの超薄膜成膜を可能にするテクノロジー) を活用した大量生産向けソリューション

「Broadbit」：再充電可能なナトリウムイオン電池

「RadOLf」：放射線測定システムを搭載した半導体

「HOXHUNT」：組織のサイバー攻撃対応力強化ソリューション

### ■EIG Ari 氏及びスタートアップ企業と、参加者とのディスカッションと質疑

最後に、ピッチを行ったフィンランドのスタートアップ企業から参加者に対し、自社のプロダクト・サービスへの日本企業との連携可能性や日本での活用可能性といった観点で質問があり、参加者から回答やフィードバックが行われました。



-----  
一般社団法人 Japan Innovation Network (JIN) 事務局

[お問合せ先]

ホームページ: <http://ji-network.org/contact/>

メール: [info@ji-network.org](mailto:info@ji-network.org)